

## 大東市、四條畷市にも 無防備 の風を

ぼっぱの会：高橋 爾さん

近所からはじめる！戦争をしない街づくりをすすめる会  
(愛称：ぼっぱの会)の事務局会議を組織しました！

「落ちていくピラをみて来ました」

12月2日、澤野義一さん(大阪経済法科大学教授)と矢野秀喜さん(全国ネット事務局)の2人をお招きして、四條畷市内で学習会を開催しました。今回の学習会を開催するきっかけは、約3年前にさかのぼります。私たちのメンバーの一人が、大阪市内の駅前で、「無防備地域宣言」の署名員と、たまたま出会った(見かけた)のが始まりです。「こんな取り組みがあるんだ・!」。以来、とてもゆっくりしたものでしたが、「もっと多くの人に無防備地域宣言運動のことを知ってもらおう」「自分たちの地域から、非戦の取り組みを発信

していこう」と、今回の学習会を企画、準備してきました。

当日は、「まずは自分たちがもっと勉強しよう」ということで、たくさんの人に積極的に呼びかけることはしなかったのですが、22人の参加が得られました。当日までに、街頭での情宣を申し訳程度に2度、実施しましたが、参加者の中には「落ちていくピラを拾って・・・」という方もおられてびっくりしました。情宣をしていても、市民の反応が思っていた以上によく、今後、運動を広げていく手ごたえのようなものを感じました。

署名による直接請求以外の方法も追求していきます

16日には、2日の学習会の参加者から希望者を募り、より具体的に無防備地域宣言運動を進めていくた

めの事務局を組織しました。近所からはじめる！戦争をしない街づくりを進める会(愛称：ぼっぱの会)事務局会議といます。これからはこの事務局を中心に政策研究や実践を進め、無防備地域宣言の実現をめざします。とりわけ、これまでの先達が奮闘されてきてもお、議会で「つぶされて」きている状況を受けて、なんとしても無防備地域宣言を克ち取れるような運動をしたいと思っています。そのために、署名による直接請求という方法以外の可能性も、おおいに追求していこうと考えています。

2月15日には、大きな集会を開催することを検討中です。その集会においては、無防備地域宣言のことを、より多くの市民に知ってもらう機会にすると同時に、宣言の実現に向けて、一緒に汗をかいてくれる人を増やすきっかけにしたいと思っています。

皆さんには、今後多方面でお世話になると思いますが、アドバイスやご支援等、よろしくお願いいたします。

12月20日には東京でも出版記パルティが開催されましたが、来年1月には署名を終えた東京都目黒区・京都市向日市・大阪府堺市・大阪府箕面市で議会審議が始まり、京都府宇治市などでは新たに署名が取り組まれます。11月初旬に同時代社より出版されたまんが「無防備マンが行く!」は、大きな反響を呼んでいます。さらに多くの人たちに読まれ、運動と一体となって、広がることを期待したいと思います。



中央が秋元さん